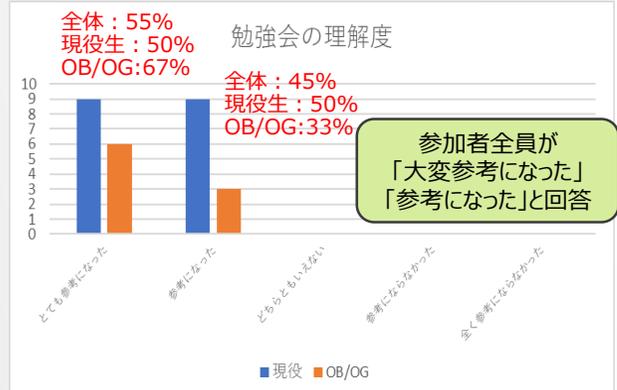
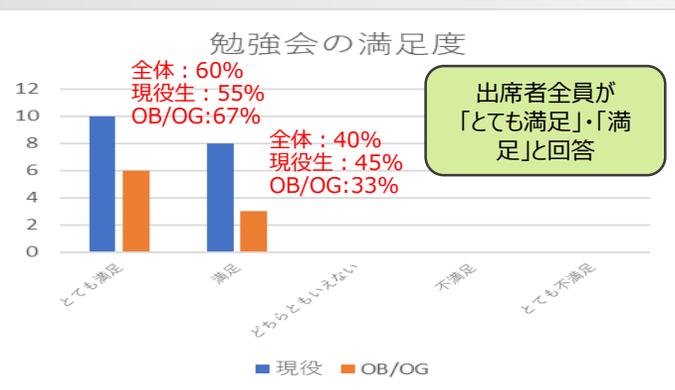


第8回産業勉強会の実施結果サマリー

<実施概要>

日付	テーマ	講師	卒年	講演内容
2019/7/5	『新規事業を楽しむ！経営者という選択肢』 ～15年新規事業開発に携わってきた。大手の新規事業と、自分でやってみる新規事業の楽しみ方～	池松 邦倫	2005年卒 (第15期)	新規事業という創造は非常に楽しい。しかし、その過程は想像以上に不確実、計画通りなどまず不可能、暗中模索というストレスの連続。それでも自らを推し進める原動力は、成し遂げたいという熱意であり、そこにしか解はない。ただ、一度成功軌道に乗れば、途轍もないスピード、濃さで進んでいく、その高揚感は、踏ん張った人にしか感じられないもの。ラクロスも同様、一部昇格を本気で信じているか？自らがそれに寄与する熱意があるか？成功軌道に乗るかは、全員が目前のやるべきことを、熱意を持って粛々とるかどうか、本気で信じて前に進もう、その先に感じたことのない高揚感が待っている。

<出席者からのアンケート結果> ※有効回答者数；27名 内訳) 現役男子Mgr.18名、OB9名の計27名 ※無回答1名



<勉強会の風景>



<参考資料の一部抜粋>

お話しする流れ

はじめに	池松について
第1章	原点
第2章	新規事業の世界へ
第3章	成功体験
第4章	起業
おわりに	新規事業の楽しみ方



事務局からの総括

- 第8回は、株式会社ハイアウトの代表取締役社長として、経営の第一線で活躍されている池松さんに講師となっていていただき、「新規事業」をキーワードに、その「楽しさ」「難しさ」をすべて実体験に基づいた話を織り交ぜながら語って頂きました。人材系コンサル会社での経験、新規事業専門コンサル会社での経験、起業後から現在に至るまでの経験を詳細にケーススタディを交えて語って頂いた内容は、どれも興味深く、本やインターネットでは得られない知識・経験談で現役・社会人にとって大変実のある話であったと感じております。仕事やラクロス部における取り組みに応用できる話も多数あり、現役生のアンケートからも、ラクロス部での活動で生かしていきたいとのコメントもございました。印象的なワード・エッセンスとしては、「新規事業は楽しい、一方で、計画通りにいかず、コントロールもできない不確実性もあり、難しい。Try & Errorの連続である。だから成功したときの喜びは大きく、一度味わったらやめられない。しかし、新規事業は一人ではできない、One for All, All for Oneの精神が非常に重要」
- 現役生は、1～3年生を中心に19名も参加頂き、事務局含めて30名を超える青学ラクロス現役・OBが集まり、活発な質疑応答交えて、有意義な勉強会となりました。経団連の就活解禁日の制限が撤廃となることもあり、若手現役生の多くが、早い段階で仕事や就職活動に対して、関心が高くなっているものと実感しました。